

科学研究費助成事業 研究成果報告書

令和 6 年 9 月 11 日現在

機関番号：32606

研究種目：基盤研究(A)（一般）

研究期間：2019～2022

課題番号：19H00594

研究課題名（和文）デジタルエコノミーによる国際分業変容の分析

研究課題名（英文）Analyses of changes in international division of labor through digital economy

研究代表者

石川 城太（Ishikawa, Jota）

学習院大学・国際社会科学部・教授

研究者番号：80240761

交付決定額（研究期間全体）：（直接経費） 37,780,000円

研究成果の概要（和文）：2つのサブテーマを設定して研究を行った。（1）デジタルエコノミーによる企業の立地と国際貿易の変容：デジタルエコノミーの進展が産業集積や海外生産ネットワークの変容に及ぼす影響を分析した。各国の貿易データを用いて実体を解明し、企業立地や貿易構造の変化を空間経済学や国際貿易論の分析手法を用いて考察した。（2）デジタル技術の発達に伴う国内的・国際的コンフリクト：国家間の所得分配に影響を与える要素と国内所得格差に影響を与える要素を含み、かつ、現実のデータと整合的な結果をもたらす理論モデルを構築し、デジタル技術の発達が、グローバルな貿易構造の変化を通じて国際的・国内的所得格差に与える影響を分析した。

研究成果の学術的意義や社会的意義

デジタルエコノミーの急速な進展に伴うデータの国家間の偏在や国際分業・企業立地の変化、そしてそれらによって生じた国際的・国内的コンフリクトを解明した本研究の成果は、学術的に独創性が高く、今後のグローバル化のあり方を考察する上で重要なものである。

また、新興国・発展途上国は、デジタル技術の隆盛を踏まえ、開発戦略を大きく改編しつつある。本研究では、ASEANおよびそれを取り巻く東アジア諸国との関係を踏まえたデジタル技術に関する政策的含意を導き、日本企業の国際展開を考察する上でも貴重な研究成果になったと言える。

研究成果の概要（英文）：Two sub-themes were set for the research. (1) Changes in firm location and international trade due to the digital economy: We analyzed the effects of the advancement of the digital economy on changes in industrial clusters and overseas production networks. We used trade data from each country to clarify the actual situation, and considered changes in firm location and trade structure using analytical methods from spatial economics and international trade theory. (2) Domestic and international conflicts due to the development of digital technology: We constructed theoretical models that include factors affecting income distribution between countries and factors affecting domestic income disparities, and generate results consistent with real-world data, and analyzed the impacts of the development of digital technology on international and domestic income disparities through changes in the global trade structure.

研究分野：国際経済学

キーワード：デジタルエコノミー 情報通信技術 ビッグデータ 国際分業 グローバリゼーション

1. 研究開始当初の背景

(1) 1980年代から始まった情報通信技術 (ICT: Information, Communication, and Technology) 革命の進展は、生産プロセスの細分化 (いわゆる「フラグメンテーション」とその国際的分散 (いわゆる「オフショアリング」)) を可能にし、世界経済は急速にグローバル化した。すなわち、ICT の世界的普及によって、グローバルバリューチェーン (GVC) の構築が進んだ。それに加えて、データ解析技術の進展や人工知能 (AI: Artificial Intelligence) やロボットの開発などにより、データ蓄積を巡る国際競争、生産プロセスのデジタル化、生産・開発拠点のより一層のグローバル化が進み、世界経済の環境は大きく変化していた。

(2) GVC の進展によって中国などの新興国に製造業の生産拠点がシフトした結果、貿易構造は変化し、新興国の所得水準は向上した。さらに、フィンテックと呼ばれるような技術革新を利用した新しい金融サービスが新興国で大きく発達するなど、単なる生産拠点の移転以上の動きも広がっていた。このような動きは、もちろん新興国内の所得分配に影響を与えるだけでなく、新興国に仕事を奪われた先進国の中間所得層の相対的低下を生み出すなど、先進国の所得分配にも影響を与えていた。そしてこれらの変化は、国際的には貿易をめぐるコンフリクトを生み、国内的にはポピュリズムの台頭などの政治的コンフリクトを生んだ。この国際的コンフリクトと国内的コンフリクトは互いに関連し合い、増強してきているように見えた。

2. 研究の目的

本研究は、デジタルエコノミーの進展がデータの国家間の偏在や国際分業・企業立地にどのように影響を与え、グローバリゼーションをどのように変化させるのかを国際経済学の視点から明らかにするとともに、そのようなグローバリゼーションの変容が国際的・国内的コンフリクトを発生させるメカニズムを国家間の所得分配と国内の所得分配に与える影響を同時に考慮することによって明らかにする。それによって、新たなグローバル経済のルール・メイキングや経済政策論のための学術的根拠を整備し、さらには国際的・国内的コンフリクトの発生を最小化する経済システムの設計を探索する。

3. 研究の方法

具体的には、以下の2つのサブテーマを設定して研究を行った。分析においては、理論モデルの構築とデータによる検証をバランスよく行うことで、理論と実証分析の融合を図った。また、ビッグ・データの移動、各国のデジタル化の進展や制度、海外生産ネットワークの現状把握などのために現地調査も行った。ただ、コロナ禍の影響で当初計画していた現地調査の一部しか遂行できなかった。

(1) デジタルエコノミーによる企業の立地と国際貿易の変容

デジタルエコノミーの進展によってどのように産業集積や海外生産ネットワークが変容するのかを分析したが、この 이슈を実証面から精査した研究がほとんど無いことに鑑み、まず各国の貿易データを用いて実体を解明した。そして、企業立地を軸に空間経済理論や国際貿易理論の分析手法を用いて考察した。

また、デジタル化に対応した輸送・流通技術やインフラが貿易に与える影響について、産業経済学の知見を援用して理論モデルを構築し、それに基づく実証分析を行った。

(2) デジタル技術の発達に伴う国内的・国際的コンフリクト

自由なデータ移動を真に実現するためには、人々の不安を払拭し、また政府の不要な介入を防ぐため、効率的なバックアップ政策を整備しなければならない。しかし、これらのバックアップ政策については、米欧の間でも大きな対立があり、また中国などでは全く異なる政治哲学により政策が設計されているため、それらの政策のストックテイキングを行った。

国家間の所得分配に影響を与える要素と国内所得格差に影響を与える要素を含み、かつ、現実のデータと整合的な結果をもたらす理論モデルを構築し、デジタル技術の発達がグローバルな貿易構造に与える影響を分析した。そしてそのグローバルな貿易構造の変化が国際的・国内的所得格差に与える影響を分析した。

4. 研究成果

(1) デジタルエコノミーによる企業の立地と国際貿易の変容

- ① 東アジアにおいては他地域と異なり、新興国・途上国側の産業用ロボットの導入とデジタル化サービス輸入が、ネットワーク貿易を増加させていることが分かった。IT の浸透が必ずしも先進国へのリショアリングを帰結するものではないとの政策的含意を得た。
- ② デジタルエコノミーの進展に伴う GVC 展開を解明するための国際貿易理論・空間経済理論を構築した。特に、企業の異質性が存在する下での産業集積の形成や複数の製品が供給される下での製品分業・企業立地を解明する理論モデルを構築した。
- ③ デジタル化の流れも受けて企業は海外直接投資を活発化させ、その結果として多国籍企業の内部で行われる企業内貿易は世界貿易の中で大きな比率を占めるに至ったが、どのような場合に、企業内貿易が選ばれるかについて企業マイクロデータで解明した実証研究は限ら

れていた。日本企業のマイクロデータを用いて、契約の不完備性と投入産出関係が、特に発展途上国においては企業内貿易に有意に影響することを見出した。

- ④ デジタル化の進展は距離の概念を変容させた、つまり、オンラインの活用は移動コストを大きく低下させて経済的な距離を縮めたと考えられる。しかし、すべての移動コストがゼロになったわけではなく、一部の要素について、極端に移動コストが低下したことを意味する。その結果として、需要が大きい都市への集積から、供給コストが小さい都市への集積へと集積の構造が変化し、グローバリゼーションの構造が変化することを明らかにした。
 - ⑤ デジタルエコノミーの進展、具体的には電子商取引の浸透が、新型コロナの貿易に対する影響を緩和しているかを実証的に分析した。電子商取引では対面での購買活動に比べて感染リスクが小さいため、電子商取引が浸透している国ほど、消費及び輸入の減少は小さくなると予想される。その予想通り、電子商取引が浸透している国ほど、新型コロナが輸入に与える負の影響は有意に小さいことを確認した。
 - ⑥ デジタル経済において、商品のオンラインランキングがどのような影響をもたらすのかを分析した。オンライン商品は需要の価格弾力性が高く、したがって販売の価格が低いこと、また、ランキング効果がオンライン競争を激化させるにつれて生産性の最も高い企業の規模と市場シェアが上がって「スーパースター企業」になり、消費者の厚生も向上させることを明らかにした。
 - ⑦ 3Dプリンターが財貿易に与える影響についての知見を得るために、それに似た事象として、音楽配信サービスの浸透が、音楽CD貿易に与える影響を実証的に分析した。その結果、音楽CD貿易が有意に減少したことが示された。この結果は、3Dプリンターの文脈に適用することで、3Dプリンターの浸透が財貿易を減少させるであろうことを示唆している。その後、水平的直接投資と輸出の間のトレードオフ関係を概念的フレームワークとしながら、3Dプリンターと財貿易の関係を理論的に検討した。
 - ⑧ デジタル関連財の直接投資の誘致競争に注目し、消費に国境を越えたネットワーク効果が働くもとの、国家間の租税競争の帰結について理論分析を行なった。既存研究と異なり、ネットワーク効果が強い場合には市場規模が大きく国内に競合企業がいる国が租税競争の勝者になる蓋然性が高くなり、それにより国内企業や外国の消費者も利益を受ける可能性があることが明らかになった。
 - ⑨ 単一のプラットフォーム（PF）にサービス提供者と消費者が同時に参入する二面市場において、ゲーム機のようにPF財が物理的に貿易されるケースに注目し、それに対する輸入税の影響について理論的に考察した。従来の研究では、外国の独占企業に対する最適な輸入税は通常は正であったが、二面市場においては、ネットワーク外部性が十分に大きいと輸入国の最適輸入税は負になることが明らかになった。ネットワーク外部性はデータの越境移転規制等により弱まるため、このことは、デジタル保護主義が貿易自由化の阻害要因となることを示唆している。
 - ⑩ 輸送部門を貿易モデルに明示的に導入して、貿易政策の効果を分析した。特に、自国が関税や輸入割当といった政策によって自国の輸入量を減少させるとき、もし輸送企業が効率的な輸送を行っているとする、自国の輸入量減少が輸送容量を減少させて自国の輸出も制限してしまうことを指摘し、さらに実証分析によってそのことを確認した。輸入量の減少そのものは自国企業に利益をもたらすが、輸送量の減少は自国企業に損失をもたらし、場合によっては、自国企業が自国の輸入制限政策から損失を被る可能性があることを指摘した。
- (2) デジタル技術の発達に伴う国内的・国際的コンフリクト
- ① 東アジア・アセアン経済研究センター（ERIA）との研究協力のもと、東南アジア諸国連合（ASEAN）諸国およびそれを取り巻く東アジア諸国におけるデジタル・トランスフォーメーションの進行と企業活動・国際貿易の変容について、分析を進めた。新興国・発展途上国は、デジタル技術が破壊的イノベーション（disruptive innovation）を容易にするとの特性を積極的に利用し、分野によっては先進国よりもむしろ早いデジタル技術導入を促進し、多くの経済社会課題の解決・緩和を進めていることが分かった。一方で、先進国が課題としている制度的整備、たとえばデータ保護・プライバシー、サイバーセキュリティに関する手当ては後追いとなっていることが明らかになった。
 - ② デジタルデータの越境移転につながる企業による海外でのデータ収集活動について、日本企業を対象とした独自調査を実施し、その結果をとりまとめるとともに、政府統計マイクロデータとリンクさせ、生産性等の企業の基本特性との関係について計量分析を行った。その結果、海外直接投資が強く関係していることが見いだされた。
 - ③ デジタルのデータなどの無形資産は、仕向地国がその国際取引を補足することが難しいため、仕向地主義にもとづく課税を行うことは困難である。そこで、2国間でデジタルのデータなどの無形資産が取引される経済において仕向地主義の場合にはその適用に大きなコストが必要であると想定し、寡占市場において、サービスの受け手側の所在地国に課税権があるとする仕向地主義による課税と、提供する側の所在地国に課税権があるとする原産地主義による課税が、資源配分や経済厚生に及ぼす効果の違いを分析した。特に、それぞれのメリット・デメリットを比較考察した。
 - ④ 多国籍企業の節税対策としての移転価格操作がデジタルエコノミー下で容易になる可能性

があるため、移転価格操作規制の効果を理論的に分析した。アームズ・レングス（独立企業間価格）原則といった移転価格操作規制は、多国籍企業のタックスヘイブンへの利潤移転を抑制して税収を上げる効果を持つが、同時に生産者や消費者にも影響を与える可能性があることを示し、とくに消費者の利益を考慮するような規制を設計の必要性を指摘した。

- ⑤ コロナ禍によって進展したデジタル経済に関して、データを収集して実証研究を行った。コロナ禍で一部の職や仕事が急速にデジタル化したことを明らかにし、さらに、AI やロボットが労働を代替し職を奪うというよりもむしろ補完していることを明らかにした。
- ⑥ GVC が存在する環境でロボットやAI が世界の労働市場に与える影響を分析し、それらは中国やドイツの自動車産業や日本の電気産業の雇用に大きな影響を与える反面、労働市場全般への影響はそれほど大きくなっていないことを解明した。
- ⑦ デジタルエコノミーの進展によるグローバル経済の深化がもたらした国際的な軋轢への対処として、貿易救済措置とりわけアンチダンピング (AD) 措置が頻繁に用いられているが、貿易救済措置が発動されるためには、申請者の申請コストが申請による期待利得を上回ることが必要条件である。国の経済政策の変遷や法制度と運用手続の変更により、日本が必要条件を満たし、AD 措置を行う国になった経緯を分析した。
- ⑧ デジタル化が金融市場に与える影響を実証分析によって考察した。その結果、日本国内では、デジタル化や電子決済が国際的に進んでも地域間の金融市場の分断は大きく長期的な地域経済の成長経路にも大きく影響することが分かった。

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計103件（うち査読付論文 85件 / うち国際共著 40件 / うちオープンアクセス 41件）

1. 著者名 Choi Jay Pil, Ishikawa Jota, Okoshi Hirofumi	4. 巻 31
2. 論文標題 Tax havens and cross-border licensing with transfer pricing regulation	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 International Tax and Public Finance	6. 最初と最後の頁 333 ~ 366
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s10797-022-09770-w	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -
1. 著者名 Airebule Palizha, Cheng Haitao, Ishikawa Jota	4. 巻 68
2. 論文標題 Assessing carbon emissions embodied in international trade based on shared responsibility	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Journal of the Japanese and International Economies	6. 最初と最後の頁 101260 ~ 101260
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jjie.2023.101260	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -
1. 著者名 Sugiyama Yasuyuki, Weng Yungho, Abe Kenzo	4. 巻 71
2. 論文標題 Optimal policy for environmental goods trade in asymmetric oligopolistic eco-industries	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Resource and Energy Economics	6. 最初と最後の頁 101343 ~ 101343
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.reseneeco.2022.101343	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する
1. 著者名 Okubo Toshihiro	4. 巻 60
2. 論文標題 Telework in the spread of COVID-19	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Information Economics and Policy	6. 最初と最後の頁 100987 ~ 100987
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.infoecopol.2022.100987	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Okubo Toshihiro	4. 巻 64
2. 論文標題 Traveling and eating out during the COVID-19 pandemic: The Go To campaign policies in Japan	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Japan and the World Economy	6. 最初と最後の頁 101157 ~ 101157
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.japwor.2022.101157	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Okubo Toshihiro, Okazaki Tetsuji, Tomiura Eiichi	4. 巻 55
2. 論文標題 Industrial cluster policy and transaction networks: Evidence from firm level data in Japan	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Canadian Journal of Economics	6. 最初と最後の頁 1990 ~ 2035
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/caje.12629	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Hoffmann Mathias, Okubo Toshihiro	4. 巻 137
2. 論文標題 'By a silken thread': Regional banking integration and credit reallocation during Japan's lost decade	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Journal of International Economics	6. 最初と最後の頁 103579 ~ 103579
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jinteco.2022.103579	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 OKAZAKI TETSUJI, OKUBO TOSHIHIRO, STROBL ERIC	4. 巻 -
2. 論文標題 The Bright and Dark Sides of a Central Bank's Financial Support to Local Banks after a Natural Disaster: Evidence from the Great Kanto Earthquake, 1923 Japan	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Journal of Money, Credit and Banking	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/jmcb.13018	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Noy Ilan, Okubo Toshihiro, Strobl Eric, Tveit Thomas	4. 巻 30
2. 論文標題 The fiscal costs of earthquakes in Japan	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 International Tax and Public Finance	6. 最初と最後の頁 1225 ~ 1250
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s10797-022-09747-9	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Forslid Rikard, Okubo Toshihiro	4. 巻 100
2. 論文標題 Trade, location, and multi-product firms	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Regional Science and Urban Economics	6. 最初と最後の頁 103891 ~ 103891
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.regsciurbeco.2023.103891	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 大久保敏弘	4. 巻 4
2. 論文標題 「デジタル経済とテレワークの進展：国際経済と日本経済の視点」	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 経済セミナー	6. 最初と最後の頁 35 - 41
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Okubo Toshihiro	4. 巻 -
2. 論文標題 Non routine tasks and ICT tools in telework	5. 発行年 2024年
3. 雑誌名 LABOUR	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/labr.12262	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Baldwin Richard、Okubo Toshihiro	4. 巻 47
2. 論文標題 Are software automation and teleworker substitutes? Preliminary evidence from Japan	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 The World Economy	6. 最初と最後の頁 1531 ~ 1556
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/twec.13496	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Okubo Toshihiro、Watabe Yuta	4. 巻 83
2. 論文標題 Networked FDI and third-country intra-firm trade	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 International Review of Economics & Finance	6. 最初と最後の頁 591 ~ 606
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.iref.2022.10.003	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Feng Xiao、Wang Yongjin、Zhao Laixun	4. 巻 157
2. 論文標題 Export capacity constraints and distortions	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Journal of Development Economics	6. 最初と最後の頁 102889 ~ 102889
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jdeveco.2022.102889	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Zeng Shuai、Luo Changyuan、Zhao Laixun	4. 巻 137
2. 論文標題 Destination trade credit and exports: Evidence from cross-country panel data	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Journal of International Money and Finance	6. 最初と最後の頁 102900 ~ 102900
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jimonfin.2023.102900	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Matsuura Toshiyuki, Ito Banri, Tomiura Eiichi	4. 巻 159
2. 論文標題 Intrafirm trade, input-output linkage, and contractual frictions: evidence from Japanese affiliate-level data	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Review of World Economics	6. 最初と最後の頁 133 ~ 152
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s10290-022-00465-2	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Tomiura Eiichi, Kumanomido Hiroshi	4. 巻 31
2. 論文標題 Productivity premium of multinationals in global ownership linkages: A comparison of second tier subsidiaries	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Review of International Economics	6. 最初と最後の頁 1222 ~ 1245
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/roie.12661	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Taiji Furusawa and Lili Yan Ing	4. 巻 -
2. 論文標題 G20's Roles in Improving the Resilience of Supply Chains	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Lili Yan Ing and Dani Rodrik (eds.) New Normal, New Technologies, New Financing, G20 Indonesia 2022	6. 最初と最後の頁 51-63
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Furusawa Taiji, Kusaka Shoki, Sugita Yoichi	4. 巻 -
2. 論文標題 The Impacts of AI, Robots, and Globalization on Labor Markets	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Robots and AI	6. 最初と最後の頁 123 ~ 149
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.4324/9781003275534-5	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Furusawa Taiji	4. 巻 26
2. 論文標題 Growth of Knowledge-Intensive Sectors and Secular “Stagnation” in the Global Economy	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 The International Economy	6. 最初と最後の頁 1～19
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.5652/internationaleconomy/ie2023.26.06.tf	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Hayakawa Kazunobu, Pyun Ju Hyun, Yamashita Nobuaki, Yang Chih hai	4. 巻 47
2. 論文標題 Ripple effects in regional value chains: Evidence from an episode of the US - China trade war	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 The World Economy	6. 最初と最後の頁 880～897
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/twec.13444	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Shibayama Chisato	4. 巻 47
2. 論文標題 Anti dumping policy in Japan: From passive to active and self disciplined anti dumping actions	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 The World Economy	6. 最初と最後の頁 2147～2177
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/twec.13540	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 柴山千里	4. 巻 No.2759
2. 論文標題 道なかばの日本の地域貿易協定20年	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 世界経済評論IMPACT	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Hayakawa Kazunobu, Keola Souknilanh, Urata Shujiro	4. 巻 63
2. 論文標題 How effective was the restaurant restraining order against COVID-19? A nighttime light study in Japan	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Japan and the World Economy	6. 最初と最後の頁 101136 ~ 101136
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.japwor.2022.101136	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Ishikawa Jota, Tarui Nori	4. 巻 207
2. 論文標題 You can 't always get what you want: Protectionist policies with the transport sector	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Economics Letters	6. 最初と最後の頁 110009 ~ 110009
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.econlet.2021.110009	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Okubo Toshihiro, Strobl Eric	4. 巻 61
2. 論文標題 Natural disasters, firm survival, and growth: Evidence from the Ise Bay Typhoon, Japan	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Journal of Regional Science	6. 最初と最後の頁 944 ~ 970
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/jors.12523	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Forslid Rikard, Okubo Toshihiro	4. 巻 16
2. 論文標題 Agglomeration of low-productive entrepreneurs to large regions: a simple model	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Spatial Economic Analysis	6. 最初と最後の頁 471 ~ 486
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1080/17421772.2021.1884280	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Okubo Toshihiro	4. 巻 58
2. 論文標題 Public preferences on immigration in Japan	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Japan and the World Economy	6. 最初と最後の頁 101073 ~ 101073
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.japwor.2021.101073	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Felbermayr Gabriel、Okubo Toshihiro	4. 巻 158
2. 論文標題 Individual preferences on trade liberalization: evidence from a Japanese household survey	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Review of World Economics	6. 最初と最後の頁 305 ~ 330
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s10290-021-00432-3	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Cole Matthew A.、Elliott Robert J.R.、Okubo Toshihiro、Zhang Liyun	4. 巻 103
2. 論文標題 Importing, outsourcing and pollution offshoring	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Energy Economics	6. 最初と最後の頁 105562 ~ 105562
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.eneco.2021.105562	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Okubo Toshihiro、Okazaki Tetsuji、Tomiura Eiichi	4. 巻 55
2. 論文標題 Industrial cluster policy and transaction networks: Evidence from firm level data in Japan	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Canadian Journal of Economics/Revue canadienne d'economique	6. 最初と最後の頁 1990 ~ 2035
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/caje.12629	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Hoffmann Mathias, Okubo Toshihiro	4. 巻 137
2. 論文標題 'By a silken thread': Regional banking integration and credit reallocation during Japan's lost decade	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Journal of International Economics	6. 最初と最後の頁 103579 ~ 103579
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jinteco.2022.103579	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Kato Hayato, Okubo Toshihiro	4. 巻 82
2. 論文標題 The Resilience of FDI to Natural Disasters Through Industrial Linkages	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Environmental and Resource Economics	6. 最初と最後の頁 177 ~ 225
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s10640-022-00666-1	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Schmidt-Petri Christoph, Schroder Carsten, Okubo Toshihiro, Graeber Daniel, Rieger Thomas	4. 巻 10
2. 論文標題 Social Norms and Preventive Behaviors in Japan and Germany During the COVID-19 Pandemic	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Frontiers in Public Health	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fpubh.2022.842177	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Okubo Toshihiro, Inoue Atsushi, Sekijima Kozue	4. 巻 9
2. 論文標題 Who Got Vaccinated for COVID-19? Evidence from Japan	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Vaccines	6. 最初と最後の頁 1505 ~ 1505
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/VACCINES9121505	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 大久保敏弘	4. 巻 4-5月号
2. 論文標題 デジタル経済とテレワークの進展：国際経済と日本経済の視点	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 経済セミナー	6. 最初と最後の頁 35-41
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 大久保敏弘	4. 巻 -
2. 論文標題 日本の産業集積・地域産業政策の変遷と政策課題 ソフト・コンパクト・デジタル化	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 都市計画	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 大久保敏弘	4. 巻 春号
2. 論文標題 コロナ禍のテレワークとデジタル経済の進展	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 季刊個人金融	6. 最初と最後の頁 33-43
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Obashi Ayako, Kimura Fukunari	4. 巻 35
2. 論文標題 New Developments in International Production Networks: Impact of Digital Technologies*	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Asian Economic Journal	6. 最初と最後の頁 115 ~ 141
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/asej.12240	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kimura, Fukunari	4. 巻 Vol. 34, No. 1
2. 論文標題 The Impact of COVID-19 and the US-China Confrontation on East Asian Production Networks	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Seoul Journal of Economics	6. 最初と最後の頁 27-41
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Ando Mitsuyo, Kimura Fukunari, Obashi Ayako	4. 巻 20
2. 論文標題 International Production Networks Are Overcoming COVID-19 Shocks: Evidence	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Asian Economic Papers	6. 最初と最後の頁 40 ~ 72
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1162/asep_a_00835	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kimura Fukunari	4. 巻 14
2. 論文標題 “RCEP from the middle powers’ Perspective”	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 China Economic Journal	6. 最初と最後の頁 162 ~ 170
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1080/17538963.2021.1933059	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 木村福成	4. 巻 647
2. 論文標題 特集：東アジアにおける経済統合と新しい流れ 東アジア経済統合と中国	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 東亜	6. 最初と最後の頁 2-9
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 木村福成	4. 巻 10.11月号No.722
2. 論文標題 貿易を取り巻く情勢と政策的課題	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 経済セミナー	6. 最初と最後の頁 24-28
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Zhao Laixun	4. 巻 30
2. 論文標題 A simple model of the Hukou system and Chinese exports	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Review of International Economics	6. 最初と最後の頁 549 ~ 565
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Li Yuhua, Jian Ze, Tian Wei, Zhao Laixun	4. 巻 183
2. 論文標題 How political conflicts distort bilateral trade: Firm-level evidence from China	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Journal of Economic Behavior and Organization	6. 最初と最後の頁 233 ~ 249
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jebo.2021.01.003	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Tomuira Eiichi, Ito Banri, Mukunoki Hiroshi, Wakasugi Ryuhei	4. 巻 58
2. 論文標題 Individual characteristics and the demand for reciprocity in trade liberalization: Evidence from a survey in Japan	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Japan and the World Economy	6. 最初と最後の頁 101071 ~ 101071
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.japwor.2021.101071	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Sugita Yoichi, Teshima Kensuke, Seira Enrique	4. 巻 -
2. 論文標題 Assortative Matching of Exporters and Importers	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 The Review of Economics and Statistics	6. 最初と最後の頁 1~46
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1162/rest_a_01114	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Chang Kuo I, Hayakawa Kazunobu, Laksanapanyakul Nuttawut, Narjoko Dionisius, Pyun Ju Hyun, Quimba Francis	4. 巻 45
2. 論文標題 Determinants of regional trade agreement utilisation: Evidence from multiple import countries in Asia	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 The World Economy	6. 最初と最後の頁 1713~1736
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/twec.13226	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Hayakawa Kazunobu, Mukunoki Hiroshi, Urata Shujiro	4. 巻 74
2. 論文標題 Can e-commerce mitigate the negative impact of COVID-19 on international trade?	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 The Japanese Economic Review	6. 最初と最後の頁 215~232
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s42973-021-00099-3	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Ishikawa Jota, Morita Hodaka, Mukunoki Hiroshi	4. 巻 172
2. 論文標題 Parallel imports and repair services	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Journal of Economic Behavior and Organization	6. 最初と最後の頁 137~160
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jebo.2020.01.024	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Ishikawa Jota, Komoriya Yoshimasa, Sugita Yoichi	4. 巻 23
2. 論文標題 Cross-border Technology Licensing and Trade Policy	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 The International Economy	6. 最初と最後の頁 28 ~ 50
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.5652/internationaleconomy/ie2020.23.04.ji	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Hayakawa Kazunobu, Ishikawa Jota, Tarui Nori	4. 巻 126
2. 論文標題 What goes around comes around: Export-enhancing effects of import-tariff reductions	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Journal of International Economics	6. 最初と最後の頁 103362 ~ 103362
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jinteco.2020.103362	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Choi Jay Pil, Furusawa Taiji, Ishikawa Jota	4. 巻 127
2. 論文標題 Transfer pricing regulation and tax competition	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Journal of International Economics	6. 最初と最後の頁 103367 ~ 103367
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jinteco.2020.103367	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Jota Ishikawa	4. 巻 May/June
2. 論文標題 Progress of Digital Trade & the Current Status of Rule-Making	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Japan SPOTLIGHT	6. 最初と最後の頁 30 ~ 34
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Jay Pil Choi, Taiji Furusawa, Jota Ishikawa	4. 巻 -
2. 論文標題 Transfer pricing regulation and tax competition	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 VoxEU	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Jay Pil Choi, Jota Ishikawa, Hirofumi Okoshi	4. 巻 -
2. 論文標題 Transfer pricing of intangible assets with the arm's length principle	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 VoxEU	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Kenzo Abe, Olga Strelchenko	4. 巻 121(2)
2. 論文標題 The Effects of Fair Trade on Rural-Urban Migration and Unemployment	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 経済学雑誌	6. 最初と最後の頁 109 ~ 123
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Okubo Toshihiro, Narita Daiju, Rehdanz Katrin, Schroeder Carsten	4. 巻 13
2. 論文標題 Preferences for Nuclear Power in Post-Fukushima Japan: Evidence from a Large Nationwide Household Survey	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Energies	6. 最初と最後の頁 2938 ~ 2938
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/en13112938	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Okubo Toshihiro, Inoue Atsushi, Sekijima Kozue	4. 巻 20
2. 論文標題 Teleworker Performance in the COVID-19 Era in Japan	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Asian Economic Papers	6. 最初と最後の頁 175 ~ 192
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1162/asep_a_00807	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Okubo Toshihiro, Strobl Eric	4. 巻 61
2. 論文標題 Natural disasters, firm survival, and growth: Evidence from the Ise Bay Typhoon, Japan	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Journal of Regional Science	6. 最初と最後の頁 944 ~ 970
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/jors.12523	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Forslid Rikard, Okubo Toshihiro	4. 巻 16
2. 論文標題 Agglomeration of low-productive entrepreneurs to large regions: a simple model	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Spatial Economic Analysis	6. 最初と最後の頁 471 ~ 486
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1080/17421772.2021.1884280	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Okubo Toshihiro	4. 巻 58
2. 論文標題 Public preferences on immigration in Japan	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Japan and the World Economy	6. 最初と最後の頁 101073 ~ 101073
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.japwor.2021.101073	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 大久保敏弘	4. 巻 75
2. 論文標題 テレワークと感染症対策－NIRA・慶應義塾大学による就業者実態調査結果から－	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 電機連合NAVI	6. 最初と最後の頁 22～26
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 大久保敏弘	4. 巻 令和2年9月号
2. 論文標題 東京一極集中とテレワーク－都市経済学の視点－	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 人と国土21	6. 最初と最後の頁 24～25
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 大久保敏弘	4. 巻 12月号
2. 論文標題 コロナ禍のテレワークと働き方の変化	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 三田評論	6. 最初と最後の頁 26～34
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 大久保敏弘	4. 巻 2021春
2. 論文標題 コロナ禍のテレワークとデジタル経済の進展	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 季刊個人金融	6. 最初と最後の頁 33～43
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Toshihiro Okubo	4. 巻 32
2. 論文標題 Spread of COVID-19 and Telework: Evidence from Japan	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Covid Economics	6. 最初と最後の頁 1 ~ 25
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Iwasa Kazumichi, Zhao Laixun	4. 巻 91
2. 論文標題 Inequality and catching-up under decreasing marginal impatience	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Journal of Mathematical Economics	6. 最初と最後の頁 99 ~ 110
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jmateco.2020.08.009	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Tomiuira Eiichi, Ito Banri, Mukunoki Hiroshi, Wakasugi Ryuhei	4. 巻 58
2. 論文標題 Individual characteristics and the demand for reciprocity in trade liberalization: Evidence from a survey in Japan	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Japan and the World Economy	6. 最初と最後の頁 101071 ~ 101071
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.japwor.2021.101071	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Furusawa Taiji, Sugita Yoichi	4. 巻 23
2. 論文標題 The Welfare Effect of Foreign Productivity and Quality Growth: A Quantitative Analysis	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 The International Economy	6. 最初と最後の頁 235 ~ 261
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.5652/internationaleconomy/ie2020.23.05.tf	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Mukunoki Hiroshi	4. 巻 72
2. 論文標題 Trade liberalization and incentives to implement antidumping protection	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 International Review of Economics & Finance	6. 最初と最後の頁 422 ~ 437
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.iref.2020.11.015	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kao Kuo-Feng, Mukunoki Hiroshi	4. 巻 199
2. 論文標題 The effects of parallel trade in two-sided markets	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Economics Letters	6. 最初と最後の頁 109721 ~ 109721
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.econlet.2020.109721	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Hayakawa Kazunobu, Mukunoki Hiroshi	4. 巻 20
2. 論文標題 Impacts of Lockdown Policies on International Trade	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Asian Economic Papers	6. 最初と最後の頁 123 ~ 141
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1162/asep_a_00804	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Mukunoki Hiroshi, Okoshi Hirofumi	4. 巻 44
2. 論文標題 Rules of origin and consumer hurting free trade agreements	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 The World Economy	6. 最初と最後の頁 2303 ~ 2318
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/twec.13097	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Hayakawa Kazunobu、Mukunoki Hiroshi	4. 巻 59
2. 論文標題 Impacts of COVID 19 on Global Value Chains	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 The Developing Economies	6. 最初と最後の頁 154 ~ 177
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/deve.12275	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Hayakawa Kazunobu、Mukunoki Hiroshi	4. 巻 60
2. 論文標題 The impact of COVID-19 on international trade: Evidence from the first shock	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Journal of the Japanese and International Economies	6. 最初と最後の頁 101135 ~ 101135
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jjie.2021.101135	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Yanagawa Noriyuki	4. 巻 23
2. 論文標題 Financial Imperfection and Outsourcing Decision	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 The International Economy	6. 最初と最後の頁 6 ~ 27
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.5652/internationaleconomy/ie2020.23.12.ny	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Hayakawa Kazunobu、Isono Ikumo、Kumagai Satoru	4. 巻 58
2. 論文標題 Transportation Costs in Archipelagos: Evidence from Indonesia	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 The Developing Economies	6. 最初と最後の頁 227 ~ 241
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/deve.12249	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Hayakawa Kazunobu, Laksanapanyakul Nuttawut, Matsuura Toshiyuki	4. 巻 58
2. 論文標題 Do regional trade agreements really help global value chains develop? evidence from Thailand	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Journal of the Japanese and International Economies	6. 最初と最後の頁 101092 ~ 101092
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jjie.2020.101092	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Hayakawa Kazunobu, Laksanapanyakul Nuttawut, Yoshimi Taiyo	4. 巻 157
2. 論文標題 Tariff scheme choice	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Review of World Economics	6. 最初と最後の頁 323 ~ 346
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s10290-020-00397-9	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Keola Souknilanh, Hayakawa Kazunobu	4. 巻 59
2. 論文標題 Do Lockdown Policies Reduce Economic and Social Activities? Evidence from NO2 Emissions	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 The Developing Economies	6. 最初と最後の頁 178 ~ 205
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/deve.12274	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Hayakawa Kazunobu, Ito Tadashi, Urata Shujiro	4. 巻 59
2. 論文標題 Labor Market Impacts of Import Penetration from China and Regional Trade Agreement Partners: The Case of Japan	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 The Developing Economies	6. 最初と最後の頁 306 ~ 323
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/deve.12277	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Ishikawa Jota、Morita Hodaka、Mukunoki Hiroshi	4. 巻 172
2. 論文標題 Parallel imports and repair services	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Journal of Economic Behavior & Organization	6. 最初と最後の頁 137 ~ 160
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jebo.2020.01.024	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Ishikawa Jota、Komoriya Yoshimasa、Sugita Yoichi	4. 巻 -
2. 論文標題 Cross-border Technology Licensing and Trade Policy	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 The International Economy	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Okubo Toshihiro、Tomiura Eiichi	4. 巻 27
2. 論文標題 Regional variations in exporters' productivity premium: Theory and evidence	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Review of International Economics	6. 最初と最後の頁 803 ~ 821
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/roie.12398	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Baldwin Richard、Okubo Toshihiro	4. 巻 52
2. 論文標題 GVC journeys: Industrialisation and deindustrialisation in the age of the second unbundling	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Journal of the Japanese and International Economies	6. 最初と最後の頁 53 ~ 67
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jjie.2019.02.003	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Okazaki Tetsuji, Okubo Toshihiro, Strobl Eric	4. 巻 79
2. 論文標題 Creative Destruction of Industries: Yokohama City in the Great Kanto Earthquake, 1923	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 The Journal of Economic History	6. 最初と最後の頁 1~31
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1017/S0022050718000748	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Cole Matthew A, Elliott Robert J R, Okubo Toshihiro, Strobl Eric	4. 巻 19(2)
2. 論文標題 Natural disasters and spatial heterogeneity in damages: the birth, life and death of manufacturing plants	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Journal of Economic Geography	6. 最初と最後の頁 373~408
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/jeg/lbx037	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Felbermayr Gabriel, Kimura Fukunari, Okubo Toshihiro, Steininger Marina	4. 巻 51
2. 論文標題 Quantifying the EU-Japan Economic Partnership Agreement	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Journal of the Japanese and International Economies	6. 最初と最後の頁 110~128
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jjie.2018.12.007	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 木村福成	4. 巻 683
2. 論文標題 デジタル経済と経済発展：自由なデータフローを支える政策のあり方	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 国際問題	6. 最初と最後の頁 25~36
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Davis Colin, Zhao Laixun	4. 巻 52
2. 論文標題 How do business startup modes affect economic growth?	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Canadian Journal of Economics/Revue canadienne d'economique	6. 最初と最後の頁 1755 ~ 1781
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/caje.12417	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Zhao Laixun	4. 巻 12
2. 論文標題 Through trade wars, East Asians finally learning to cooperate with each other?	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 China Economic Journal	6. 最初と最後の頁 231 ~ 244
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1080/17538963.2019.1607401	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Wei Hao, Yuan Ran, Zhao Laixun	4. 巻 27
2. 論文標題 Cultural Factors and Study Destinations of International Students	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 China & World Economy	6. 最初と最後の頁 26 ~ 49
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/cwe.12291	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Tomuira Eiichi, Ito Banri, Mukunoki Hiroshi, Wakasugi Ryuhei	4. 巻 50
2. 論文標題 Individual characteristics, behavioral biases, and attitudes toward foreign workers: Evidence from a survey in Japan	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Japan and the World Economy	6. 最初と最後の頁 1 ~ 13
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.japwor.2019.03.002	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Furusawa Taiji、Sugita Yoichi	4. 巻 -
2. 論文標題 The Welfare Effect of Foreign Productivity and Quality Growth: A Quantitative Analysis	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 The International Economy	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Furusawa Taiji、Konishi Hideo、Tran Duong Lam Anh	4. 巻 -
2. 論文標題 International Trade and Income Inequality	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 The Scandinavian Journal of Economics	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/sjoe.12360	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Hayakawa Kazunobu、Laksanapanyakul Nuttawut、Mukunoki Hiroshi、Urata Shujiro	4. 巻 33
2. 論文標題 Impact of Free Trade Agreement Use on Import Prices	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 The World Bank Economic Review	6. 最初と最後の頁 643 ~ 660
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/wber/lhx026	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Hayakawa Kazunobu、Mukunoki Hiroshi、Yang Chih-hai	4. 巻 55
2. 論文標題 Liberalization for services FDI and export quality: Evidence from China	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Journal of the Japanese and International Economies	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jjie.2019.101060	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 柴山千里	4. 巻 1422
2. 論文標題 FTAの進展と原産地規則	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 世界経済評論IMPACT	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 柴山千里	4. 巻 1508
2. 論文標題 日本の開国が証明した貿易の効果	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 世界経済評論IMPACT	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 柴山千里	4. 巻 1591
2. 論文標題 WTO上級委員会の機能停止問題	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 世界経済評論IMPACT	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

〔学会発表〕 計82件(うち招待講演 48件/うち国際学会 63件)

1. 発表者名 Jota Ishikawa
2. 発表標題 Technology Transfer, Emissions Trading, and International Trade
3. 学会等名 International Symposium on Trade and Green Environment (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 Jota Ishikawa
2. 発表標題 Technology Transfer, Emissions Trading, and International Trade
3. 学会等名 Hawaii-Hitotsubashi-Keio (H2K) Workshop (国際学会)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 Jota Ishikawa
2. 発表標題 Cross-border technology licensing with R&D opportunity and tax policies
3. 学会等名 Workshop on International Trade, FDI, and Innovation (国際学会)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 Jota Ishikawa
2. 発表標題 Technology Transfer, Emissions Trading, and International Trade
3. 学会等名 Asia Pacific Trade Seminars (APTS) (国際学会)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 Jota Ishikawa
2. 発表標題 Cross-border technology licensing with R&D opportunity and tax policies
3. 学会等名 TRIO Conference (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 Jota Ishikawa
2. 発表標題 Cross-border technology licensing with R&D opportunity and tax policies
3. 学会等名 IEFS Japan Fumio Dei Online Meeting 2023 (招待講演)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 Fukunari Kimura
2. 発表標題 Digital Prosperity
3. 学会等名 The First Annual Conference on Muslim World Economy (MWE)(Indonesia, online) (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Fukunari Kimura
2. 発表標題 Channels of Technology Transfer/Spillover in Manufacturing and Digital Economy
3. 学会等名 2nd Annual Forum on Technology Transfer: Leveraging Readiness for Technology Adaptation & Adoption among Cambodia's SMEs (Cambodia, online) (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Taiji Furusawa
2. 発表標題 Trade Liberalization, Educational Choice, and Income Distribution
3. 学会等名 Workshop: International Trade and Intellectual Property Rights (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Taiji Furusawa
2. 発表標題 Global Value Chains and Aggregate Income Volatility
3. 学会等名 2022 IEFS-EAER Conference (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Taiji Furusawa
2. 発表標題 Global Value Chains and Aggregate Income Volatility
3. 学会等名 International Conference on International Trade and Macroeconomic Dynamics (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 Taiji Furusawa
2. 発表標題 Global Value Chains and Aggregate Income Volatility
3. 学会等名 International Conference on International Trade and Macroeconomic Dynamics (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 Taiji Furusawa
2. 発表標題 Three Reasons Why Laissez-faire is Important
3. 学会等名 Korea International Economics Association (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 棕寛
2. 発表標題 Optimal Tariffs on a Monopoly Platform in Two-sided Markets
3. 学会等名 Asia Pacific Industrial Organization Conference (国際学会)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 棕寛
2. 発表標題 Keep Your Friends Close and Your Enemies Closer
3. 学会等名 Australasian Trade Workshop (国際学会)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 棕寛
2. 発表標題 Keep Your Friends Close and Your Enemies Closer
3. 学会等名 International Symposium on US-China Trade Disputes and Repercussions (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2024年

1. 発表者名 杉田洋一
2. 発表標題 Wage Markdowns and FDI Liberalization
3. 学会等名 日本国際経済学会第81回全国大会 (招待講演)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 杉田洋一
2. 発表標題 Nonparametric Identification of Production Function, Total Factor Productivity, and Markup from Revenue Data
3. 学会等名 International Symposium on Trade and Finance (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 杉田洋一
2. 発表標題 Nonparametric Identification of Production Function, Total Factor Productivity, and Markup from Revenue Data
3. 学会等名 SWET (招待講演)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Jota Ishikawa
2. 発表標題 Carbon Tax and Border Tax Adjustments with Technology and Location Choices
3. 学会等名 Asia Pacific Trade Seminars (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Jota Ishikawa
2. 発表標題 Tax Planning of MNEs & Tax Reform in Digital Economy
3. 学会等名 HARNESSING A DIGITAL ECONOMY FOR SUSTAINABLE AND INCLUSIVE DEVELOPMENT (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Jota Ishikawa
2. 発表標題 Carbon Tax and Border Tax Adjustments with Technology and Location Choices
3. 学会等名 Workshop on Trade and the Labor Market (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Toshihiro Okubo
2. 発表標題 Industrial cluster policy and transaction networks: Evidence from firm-level data in Japan
3. 学会等名 韓国国際経済学会(KIEA) 全国大会 (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 大久保敏弘
2. 発表標題 基調講演：自然災害の経済学
3. 学会等名 自然災害と適応ワークショップ (招待講演)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Kimura, Fukunari
2. 発表標題 How Will Global Value Chains Evolve with Digital Technology? Opportunities for Disruptive Innovation and Leap-frogging
3. 学会等名 APEC Study Centre Consortium Conference (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 木村福成
2. 発表標題 How Will Global Value Chains Evolve with Digital Technology? Opportunities for Disruptive Innovation and Leap-frogging
3. 学会等名 APECスタディー・センター・ジャパン (ASCJ) と外務省・経産省APEC室との懇談会 (招待講演)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Kimura, Fukunari
2. 発表標題 Servicing the World towards Economic Recovery: The Role of Services in Driving Global Trade towards Economic Recovery.
3. 学会等名 APEC and ABAC: Public-Private Dialogue on Services (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 木村福成
2. 発表標題 デジタル技術と開発戦略：ASEANとFactory Asia
3. 学会等名 2021年度第3回一橋大学政策フォーラム (招待講演)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Kimura, Fukunari
2. 発表標題 Realizing Inclusive Recovery from the COVID-19 Pandemic
3. 学会等名 T20 Inception Conference (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Kimura, Fukunari
2. 発表標題 Participated as one of the panelists in "Plenary Session 2: Optimizing Digital Transformation for Sustainable and Inclusive Growth."
3. 学会等名 T20 Inception Conference (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Kimura, Fukunari
2. 発表標題 The Rule-based Approach to Cope with China: The Case of E-commerce" and joined discussion
3. 学会等名 Center for Strategic & International Studies (CSIS), Strategic Japan Initiative, Year Nine: Competition in New Domains. Japan's Economic Statecraft: Economic Security and Global Governance (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Toshihiro Okubo
2. 発表標題 Industrial cluster policy and transaction networks: Evidence from firm-level data in Japan
3. 学会等名 韓国国際経済学会(KIEA) 全国大会 (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 大久保敏弘
2. 発表標題 基調講演：自然災害の経済学
3. 学会等名 自然災害と適応ワークショップ (招待講演)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Taiji Furusawa
2. 発表標題 The Impacts of AI, Robots, and Globalization on Labor Markets: Analysis of a Quantitative General Equilibrium GVC Model
3. 学会等名 Asia Pacific Trade Seminars (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Taiji Furusawa
2. 発表標題 The Impacts of AI, Robots, and Globalization on Labor Markets: Analysis of a Quantitative General Equilibrium Trade Model
3. 学会等名 IEFS China (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 富浦英一
2. 発表標題 中国からの輸入が日本の労働移動に与えた影響について：就業構造基本調査マイクロデータを用いた実証分析
3. 学会等名 令和3年度匿名データ等利用推進ワークショップ(オンライン), 一橋大学経済研究所附属社会科学統計情報センター・神戸大学マイクロデータセンター
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Tomura, Eiichi
2. 発表標題 Cross-border data flows, regulations, and firm characteristics: Findings from a survey of Japanese firms
3. 学会等名 On-line Workshop on Digitalization, Big Data and the U.S.-China Trade War, Kobe University
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 杉田洋一
2. 発表標題 Nonparametric Identification of Production Function, Total Factor Productivity, and Markup from Revenue Data
3. 学会等名 The Kobe Workshop on International Trade and FDI (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 杉田洋一
2. 発表標題 The Impacts of AI, Robots, and Globalization on Labor Markets: Analysis of a Quantitative General Equilibrium GVC Model
3. 学会等名 KEOセミナー (招待講演)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 杉田洋一
2. 発表標題 Nonparametric Identification of Production Function, Total Factor Productivity, and Markup from Revenue Data
3. 学会等名 The 2021 North American Summer Meeting of the Econometric Society (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 杉田洋一
2. 発表標題 Nonparametric Identification of Production Function, Total Factor Productivity, and Markup from Revenue Data
3. 学会等名 The 2021 North American Summer Meeting of the Econometric Society (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 杉田洋一
2. 発表標題 Nonparametric Identification of Production Function, Total Factor Productivity, and Markup from Revenue Data
3. 学会等名 the Third International Workshop 'Market Studies and Spatial Economics' (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 富浦英一
2. 発表標題 誰が貿易にReciprocityを求めるのか～マイクロデータによる実証分析～
3. 学会等名 日本国際経済学会中部支部冬季大会 (招待講演)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Kazunobu Hayakawa
2. 発表標題 Trade Creation Effect of Regional Trade Agreements in the Presence of Duty Drawbacks
3. 学会等名 日本国際経済学会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 柴山千里
2. 発表標題 日本のアンチダンピング 100年
3. 学会等名 日本国際経済学会関東支部第7回報告会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Fukunari Kimura
2. 発表標題 Sub-regional Development Strategy in ASEAN after COVID-19: Inclusiveness and Sustainability in the Mekong Subregion
3. 学会等名 ASEAN Forum on Sub-regional Development "Converging Mekong Subregional Cooperation with ASEAN Goals" (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Fukunari Kimura
2. 発表標題 Keynote Speech: "Three Ways to Utilize Digital Technology in East Asian Economic Development."
3. 学会等名 KIEP 30th Anniversary Conference "Global Economy and the Asian Economy" (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Fukunari Kimura
2. 発表標題 Green and Digital Technology for ASEAN to Connect Connectivities
3. 学会等名 Ministry of Foreign Affairs, Thailand, the World Bank Group, and the ASEAN Secretariat, Seminar on "Connecting the Connectivity: Synergy through Enhanced Partnership" (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Fukunari Kimura
2. 発表標題 Trade in Digital Services in ASEAN
3. 学会等名 ADB Virtual Workshop on Digital Services Trade (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Taiji Furusawa
2. 発表標題 Trade Liberalization, Educational Choice, and Income Distribution
3. 学会等名 Winter International Trade Workshop (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Hiroshi Mukunoki
2. 発表標題 Wake Not A Sleeping Lion: Free Trade Agreements and Decision Rights in Multinationals
3. 学会等名 Symposium of Public Economics (SOPE) 2021 (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Yoichi Sugita
2. 発表標題 Nonparametric Identification of Production Function TFP and Markup from Revenue Data
3. 学会等名 Summer Workshop on Economic Theory (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Yoichi Sugita
2. 発表標題 Nonparametric Identification of Production Function TFP and Markup from Revenue Data
3. 学会等名 大阪大学経済学研究会 (招待講演)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Ishikawa Jota
2. 発表標題 Transfer Pricing and the Arm's Length Principle under Imperfect Competition
3. 学会等名 2019 CCER (China Center for Economic Research, Peking University) Summer Institute (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Ishikawa Jota
2. 発表標題 Tax Havens and Cross-border Licensing
3. 学会等名 Asia Pacific Trade Seminars (APTS) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 石川城太
2. 発表標題 自由貿易を巡って
3. 学会等名 京都大学経済研究所主催シンポジウム「文明と国際経済の地平～G20大阪サミットを受けて～」(招待講演)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Ishikawa Jota
2. 発表標題 Tax Havens and Cross-border Licensing
3. 学会等名 International Workshop on "Frontiers in Research on Offshoring" (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Ishikawa Jota
2. 発表標題 Tax Havens and Cross-border Licensing
3. 学会等名 IIPF Annual Congress (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Ishikawa Jota
2. 発表標題 Tax Havens and Cross-border Licensing
3. 学会等名 Workshop on Trade, Innovation & Global Value Chains (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Ishikawa Jota
2. 発表標題 Cross-border Technology Licensing and Trade Policy
3. 学会等名 大山道広先生・池間誠先生追悼コンファレンス (招待講演)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Jota Ishikawa
2. 発表標題 Tax Havens and Cross-border Licensing
3. 学会等名 Asia-Pacific Industrial Organization Conference (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Ishikawa Jota
2. 発表標題 Cross-border Technology Licensing and Trade Policy
3. 学会等名 Workshop on International Trade and FDI (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Kimura Fukunari
2. 発表標題 Policy Brief 4: The Digital Economy for Economic Development: Free Flow of Data and Supporting Policies
3. 学会等名 T20-G20 Roundtable Discussion on “Digital Trade, WTO Reform, and Trade and Investment for Sustainable and Inclusive Growth” (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Obashi, Ayako and Kimura, Fukunari
2. 発表標題 New Developments in International Production Networks: Impact of Digital Technologies
3. 学会等名 National Bureau of Economic Research (NBER), East Asian Seminar on Economics (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Kimura Fukunari
2. 発表標題 How to Take Advantage of New Technologies for Economic Development in ASEAN?
3. 学会等名 CIMB ASEAN Research Institute (CARI), The ASEAN Roundtable Series, “ASEAN 2040: The Imperative of Collective Leadership, ASEAN Integration and Centrality in Uncertain Times” (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Kimura Fukunari
2. 発表標題 Onshore or Offshore: Value Chains in the Digital Age
3. 学会等名 Auckland Trade and Economic Policy School “Disruptions and Disruptors” Conference (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Kimura Fukunari
2. 発表標題 Keynote Address: Digital Technology for Development
3. 学会等名 Asia-Pacific Think Tank Summit (APTTS) 2019: Managing Transitions, Trade and Turmoil: The Role of Think Tanks (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Kimura Fukunari
2. 発表標題 How to Take Advantage of New Technologies?
3. 学会等名 Inspiring the World: An International Cooperation Framework of Indonesia and Japan towards 2045 (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 富浦英一
2. 発表標題 誰が保護主義を支持しているのか～マイクロデータからの考察～
3. 学会等名 日本国際経済学会関東支部新春シンポジウム
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Furusawa Taiji
2. 発表標題 Transfer Pricing and Tax Competition
3. 学会等名 HKUST Conference on International Economics (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Furusawa Taiji
2. 発表標題 Transfer Pricing and Tax Competition
3. 学会等名 2019 CCER Summer Institute (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Furusawa Taiji
2. 発表標題 Transfer Pricing and Tax Competition
3. 学会等名 Asia Pacific Trade Seminars (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Furusawa Taiji
2. 発表標題 Global Sourcing and Reorganization of Domestic Supply Chain
3. 学会等名 Global Value Chain Training and Reserach Workshop (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Furusawa Taiji
2. 発表標題 The Welfare Effect of Foreign Productivity and Quality Growth: A Quantitative Analysis
3. 学会等名 大山道広先生・池間誠先生追悼コンファレンス(招待講演)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Furusawa Taiji
2. 発表標題 Growth of Knowledge-Intensive Sector and Secular Stagnation in the Global Economy
3. 学会等名 日本国際経済学会全国大会(招待講演)(国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Furusawa Taiji
2. 発表標題 Global Sourcing and Reorganization of Domestic Supply Chain
3. 学会等名 Workshop on World Economy and Frontiers of International Economics(招待講演)(国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Muknoki Hiroshi
2. 発表標題 Production dynamics in multi-product firms
3. 学会等名 The 59th Congress of the European Regional Science Association(国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Sugita Yoichi
2. 発表標題 Wage Markdowns and FDI Liberalization
3. 学会等名 International Workshop on Applied Economics (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Sugita Yoichi
2. 発表標題 Global Value Chains and Aggregate Income Volatility
3. 学会等名 Summer Workshop on Economic Theory (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Sugita Yoichi
2. 発表標題 Global Value Chains and Aggregate Income Volatility
3. 学会等名 日本国際経済学会全国大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Sugita Yoichi
2. 発表標題 Global Value Chains and Aggregate Income Volatility
3. 学会等名 U Tokyo Workshop for Global Value Chains (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Sugita Yoichi
2. 発表標題 Identification of Markups, Production Function and TFP from Revenue Production Data
3. 学会等名 Asia-Pacific Industrial Organization Conference (国際学会)
4. 発表年 2019年

〔図書〕 計31件

1. 著者名 山本 勲、石井 加代子、樋口 美雄、石野 卓也、伊藤 翼、大久保 敏弘、シルバ・シャンギ マテウス、隅田 和人、直井 道生、中山 真緒、水村 陽一、山田 篤裕、行武 憲史、葉 青、吉田 拓矢	4. 発行年 2023年
2. 出版社 慶應義塾大学出版会	5. 総ページ数 248
3. 書名 コロナ禍と家計のレジリエンス格差	

1. 著者名 大久保敏弘	4. 発行年 2023年
2. 出版社 中央公論	5. 総ページ数 212
3. 書名 人口減少・少子高齢化社会における政策課題	

1. 著者名 大久保敏弘	4. 発行年 2022年
2. 出版社 中央公論社	5. 総ページ数 172
3. 書名 広義の経済安全保障を実現する進化型産業政策の必要性	

1. 著者名 大久保敏弘、井上敦、関島梢恵	4. 発行年 2022年
2. 出版社 NIRA総研	5. 総ページ数 79
3. 書名 テレワーク、感染症対策から得た教訓とは コロナ禍で見えた効果、課題、近未来	

1. 著者名 Chen, Lurong and Kimura, Fukunari, eds.	4. 発行年 2024年
2. 出版社 Economic Research Institute for ASEAN and East Asia	5. 総ページ数 371
3. 書名 Empowering Online Public Service in Asia: The Digital Frontier	

1. 著者名 辻琢也、大久保敏弘、中川雅之	4. 発行年 2022年
2. 出版社 NIRA総研	5. 総ページ数 137
3. 書名 「人口減少社会に挑む市町村長の実像と求められるリーダーシップ 全国市町村長アンケート調査結果を中心に」NIRA研究報告書	

1. 著者名 大久保敏弘	4. 発行年 2021年
2. 出版社 NIRA総研	5. 総ページ数 206
3. 書名 「第4回テレワークに関する就業者実態調査報告書」NIRA研究報告書	

1. 著者名 大久保敏弘	4. 発行年 2021年
2. 出版社 NIRA総研	5. 総ページ数 37
3. 書名 「第5回テレワークに関する就業者実態調査(速報版)」NIRA研究報告書	

1. 著者名 大久保敏弘	4. 発行年 2022年
2. 出版社 NIRA総研	5. 総ページ数 31
3. 書名 「第6回テレワークに関する就業者実態調査(速報版)」NIRA研究報告書	

1. 著者名 清家篤、安宅和人、伊藤由希子、大久保敏弘、栗本博行、権丈善一、小嶋大造、島崎謙治、西脇修、丹羽 恵久、白石隆、星野佳路、堀真奈美、牧原出、安井健悟、武藤祥郎、大倉紀彰、島村知亨	4. 発行年 2022年
2. 出版社 政策研究大学院大学	5. 総ページ数 186
3. 書名 人口減少・少子高齢化社会における政策課題に関する研究会 第2回中間報告書、政策研究院	

1. 著者名 清家篤、安宅和人、伊藤由希子、大久保敏弘、栗本博行、権丈善一、小嶋大造、島崎謙治、西脇修、丹羽 恵久、白石隆、星野佳路、堀真奈美、牧原出、安井健悟、武藤祥郎、大倉紀彰、島村知亨	4. 発行年 2021年
2. 出版社 政策研究大学院大学	5. 総ページ数 19
3. 書名 人口減少・少子高齢化社会における政策課題に関する研究会 第1回中間報告書、政策研究院	

1. 著者名 Stephen Broadberry, Kyoji Fukao, Paul W. Rhode, Paul Sharp, Tracy Dennison, Alexander Klein, Tokihiko Settsu, Debin Ma, Gregg Huff, Mohamed Saleh, Pablo Astorga, Alfonso, Ewout Frankema, Gary B. Magee, Latika Chaudhary, Peter Lindert, Rajabrata Banerjee, Robert Inklaar, Herman de Jong, Toshihiro Okubo,	4. 発行年 2021年
2. 出版社 Cambridge univ press	5. 総ページ数 572
3. 書名 The Cambridge Economic History of the Modern World: Volume 2	

1. 著者名 Chen, Lurong and Kimura, Fukunari	4. 発行年 2021年
2. 出版社 Routledge	5. 総ページ数 250
3. 書名 Intellectual Property Rights and ASEAN Development in the Digital Age	

1. 著者名 Kimura, Fukunari; Pangestu, Mari; Thangavelu, Shandre M.; and Findlay, Christopher	4. 発行年 2021年
2. 出版社 Edward Elgar	5. 総ページ数 496
3. 書名 Handbook on East Asian Economic Integration	

1. 著者名 小川英治、関根栄一、木村福成、高屋定美、大野早苗、松原聖、熊本方雄	4. 発行年 2021年
2. 出版社 東京大学出版会	5. 総ページ数 296
3. 書名 グローバルリスクと世界経済	

1. 著者名 Lili Yan Ing, Gene M. Grossman, Alessandra Bonfiglioli, Rosario, Gino Gancia, Ioannis Papadakis, Ester Faia, Maximilian Mayer, Gianmarco Ottaviano, Taiji Furusawa, Shoki Kusaka, Yoichi Sugita, Gordon Hanson, Erhan Artuc	4. 発行年 2022年
2. 出版社 Routledge	5. 総ページ数 240
3. 書名 Robots and AI: a New Economic Era	

1. 著者名 Yong Suk Lee, Takeo Hoshi, Gi-Wook Shin, Edison Tse, Dinsha Mistree, Poh Kam Wong, Michelle F. Hsieh, Toshihiro Okubo, Injeong Lee, Wonjoon Kim, David Lee Kuo Chuen, Hwy-Chang Moon, Yeon W. Lee	4. 発行年 2021年
2. 出版社 Stanford University Press	5. 総ページ数 250
3. 書名 Shifting Gears in Innovation Policy: Strategies from Asia	

1. 著者名 木村 福成、阿部 顕三、湯川 拓、清水 一史、椎野 幸平、春日 尚雄、Cao Thi Khanh Nguyet	4. 発行年 2020年
2. 出版社 文真堂	5. 総ページ数 198
3. 書名 これからの東アジア	

1. 著者名 Lurong Chen, Fukunari Kimura, Arkadiusz Kawa, Inkyo Cheong, John Christopher Walsh, Yuanita Suhud	4. 発行年 2020年
2. 出版社 Economic Research Institute for ASEAN and East Asia	5. 総ページ数 301
3. 書名 E-commerce Connectivity in ASEAN	

1. 著者名 Fukunari Kimura, Anh Duong Nguyen, Thu Hang Dinh, Tri Thanh Vo, Masahito Ambashi, Salvador Buban, Han Phoumin, Rashesh Shrestha, Lurong Chen, Dionisius Narjoko, Dinh Chuc Nguyen, Thanh Quang Trieu, Thi Thu Hang Vu, Putra Johannes, Dian Lutfiana, Purwanto, Han Phoumin, To Minh	4. 発行年 2020年
2. 出版社 Economic Research Institute for ASEAN and East Asia	5. 総ページ数 190
3. 書名 Subregional Development Strategy in ASEAN after COVID-19: Inclusiveness and Sustainability in the Mekong Subregion (Mekong 2030)	

1. 著者名 棕 寛	4. 発行年 2020年
2. 出版社 有斐閣	5. 総ページ数 274
3. 書名 自由貿易はなぜ必要なのか	

1. 著者名 大久保敏弘、辻琢也、中川雅之	4. 発行年 2020年
2. 出版社 NIRA総研	5. 総ページ数 57
3. 書名 「全国市町村長の政策意識に関するアンケート調査(速報)」NIRA研究報告書	

1. 著者名 大久保敏弘	4. 発行年 2020年
2. 出版社 NIRA総研	5. 総ページ数 268
3. 書名 「第2回テレワークに関する就業者実態調査報告書」NIRA研究報告書	

1. 著者名 大久保敏弘	4. 発行年 2020年
2. 出版社 NIRA総研	5. 総ページ数 220
3. 書名 「第3回テレワークに関する就業者実態調査報告書」NIRA研究報告書	

1. 著者名 大久保敏弘	4. 発行年 2020年
2. 出版社 NIRA総研	5. 総ページ数 198
3. 書名 「新型コロナウイルスの感染拡大がテレワークを活用した働き方、生活・意識などに及ぼす影響に関するアンケート調査」NIRA研究報告書	

1. 著者名 京都大学経済研究所附属先端政策分析研究センター（CAPS）、松尾 剛彦、石川 城太、藤田 昌久、溝端 佐登史、服部 崇	4. 発行年 2019年
2. 出版社 東洋経済新報社	5. 総ページ数 210
3. 書名 文明と国際経済の地平	

1. 著者名 Chen, Lurong and Kimura, Fukunari, eds.	4. 発行年 2019年
2. 出版社 Routledge	5. 総ページ数 300
3. 書名 Developing the Digital Economy in ASEAN	

1. 著者名 馬田 啓一、浦田 秀次郎、木村 福成、渡邊 頼純、柴山千里	4. 発行年 2019年
2. 出版社 文真堂	5. 総ページ数 244
3. 書名 揺らく世界経済秩序と日本	

1. 著者名 Richard Baldwin、Beatrice Weder di Mauro、Laurence Boone、Warwick McKibbin、Roshen Fernando、Roshen Fernando、Ha Nguyen、Eiichi Tomiura、Thorsten Beck、Stephen G. Cecchetti、Kermit L. Schoenholtz 他	4. 発行年 2020年
2. 出版社 CEPR Press	5. 総ページ数 123
3. 書名 Economics in Time of COVID 19	

1. 著者名 矢野誠、小林慶一郎、富浦英一、浜口伸明、長岡貞男、金榮慇、権赫旭、深尾京司、鶴光太郎、森川正之	4. 発行年 2020年
2. 出版社 東京大学出版会	5. 総ページ数 260
3. 書名 第4次産業革命と日本経済	

1. 著者名 柳川範之、酒巻哲朗、淵田康之、藤木裕、渡辺智之、木村遥介、小部春美、上田大介、小見山拓也、井上俊、奥愛、佐野春樹、中尾睦、笠原基和	4. 発行年 2019年
2. 出版社 金融財政事情研究会	5. 総ページ数 324
3. 書名 キャッシュレス・イノベーション 決済手段の進化と海外事情	

〔産業財産権〕

〔その他〕

デジタルエコノミーによる国際分業変容の分析
<http://www1.econ.hit-u.ac.jp/digitale/index.html>
 Hitotsubashi-Gakushuin Conference
<https://sites.google.com/view/hg-conference/%E3%83%9B%E3%83%BC%E3%83%A0>
 H2K Workshop on International Economics
<https://sites.google.com/view/h2k-workshop>

6. 研究組織

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	阿部 顕三 (Abe Kenzo) (00175902)	中央大学・経済学部・教授 (32641)	
研究分担者	大久保 敏弘 (Okubo Toshihiro) (80510255)	慶應義塾大学・経済学部(三田)・教授 (32612)	
研究分担者	木村 福成 (Kimura Fukunari) (90265918)	慶應義塾大学・経済学部(三田)・教授 (32612)	
研究分担者	趙 来勲 (Zhao Laixun) (70261394)	神戸大学・経済経営研究所・教授 (14501)	
研究分担者	富浦 英一 (Tomiura Eiichi) (40273065)	一橋大学・大学院経済学研究科・教授 (12613)	

6. 研究組織（つづき）

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	古澤 泰治 (Furusawa Taiji) (80272095)	東京大学・大学院経済学研究科(経済学部)・教授 (12601)	
研究分担者	椋 寛 (Mukunoki Hiroshi) (90365065)	学習院大学・経済学部・教授 (32606)	
研究分担者	柳川 範之 (Yanagawa Noriyuki) (80255588)	東京大学・大学院経済学研究科(経済学部)・教授 (12601)	

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究協力者	ボルドウィン リチャード (Baldwin Richard)		
研究協力者	柴山 千里 (Shibayama Chisato) (00270794)	小樽商科大学・商学部・教授 (10104)	
研究協力者	杉田 洋一 (Sugita Yoichi) (20743719)	慶應義塾大学・商学部・教授 (32612)	
研究協力者	早川 和伸 (Hayakawa Kazunobu) (40458948)	独立行政法人日本貿易振興機構アジア経済研究所・海外研究員 (82512)	

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計12件

国際研究集会 Hitotsubashi Conference on International Trade and FDI 2021	開催年 2021年～2021年
国際研究集会 International Online Workshop on Innovation and R&D Policies	開催年 2021年～2021年
国際研究集会 3rd Hawaii-Hitotsubashi-Keio (H2K) Workshop on International Economics	開催年 2022年～2022年
国際研究集会 Hitotsubashi Conference on International trade and FDI 2020	開催年 2020年～2020年
国際研究集会 Winter International Trade Seminar 2021	開催年 2021年～2021年
国際研究集会 The 2nd Hawaii-Hitotsubashi-Keio (H2K) Workshop on International Economics	開催年 2021年～2021年
国際研究集会 Hitotsubashi Conference on International Trade and FDI 2019	開催年 2019年～2019年
国際研究集会 Asia-Pacific Industrial Organization Conference	開催年 2019年～2019年
国際研究集会 Summer Workshop on Economic Theory (International Trade & FDI)	開催年 2019年～2019年
国際研究集会 Frontiers in Research on Offshoring	開催年 2019年～2019年
国際研究集会 Hitotsubashi Summer Institute: International Trade & FDI 2019	開催年 2019年～2019年
国際研究集会 Asian Economic Panel: An Economic Forum Dedicated to Formulating the Best Practical Solutions	開催年 2019年～2019年

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関			
ドイツ	キール大学	ベルリン自由大学	フンボルト大学ベルリン	他4機関
スイス	ジュネーブ高等国際問題研究所	ベルン大学	チューリッヒ大学	他1機関
オーストリア	オーストリア経済研究所	ウィーン経済大学		
インドネシア	東アジア・アセアン経済研究センター			
米国	Boston College	Michigan State University	University of Hawaii	他1機関
スウェーデン	Stockholms University			

共同研究相手国	相手方研究機関			
シンガポール	Singapore Management University			
ニュージーランド	ヴィクトリア大学ウェリントン			
中国	Peking University	国立中興大学		
韓国	Seoul National University	Korea University Business School		
タイ	Thailand Development Research Institute			
フィリピン	フィリピン開発研究所			
ジャマイカ	西インド諸島大学			